

豊岡市多様性推進方針策定に向けた提言

私たち豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会委員は、庁内検討委員会と合同で、2024 年6月から4回委員会を開催し、多様性に関する講義やワークショップ等により学びを深めながら、「多様性を受け入れ、支え合うまちづくり」を推進していくための方針案の検討を行ってきました。

検討過程において、多様性を、属性や目に見える「ちがい」で狭義にとらえるのではなく、目に見えない「ちがい」にも目を向けること、さまざまな「ちがい」に配慮し、少数者が社会で適合する生き方を模索させられる社会ではなく、ともに「共生」できる環境へとこれまでの働き方や生き方を社会全体で変えていく必要があると、強く気づかされました。

私たち委員は、このまちの多様性推進に向け、基本理念として、「命への共感」に基づいて、だれもが多様なちがいを理解し、公平・公正に扱われ、一体感を持って組織・社会に包摂されるまちづくりの推進を掲げ、取組みの視点、取組方針などを別添のとおり、とりまとめました。

私たち委員も、方針策定に関わった一人として、それぞれの立場で多様性の推進に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

ついては、市におかれては、委員会でとりまとめた意見をもとに、多様なちがいを持つ人が誰一人取り残されることなく、活躍するまちの実現に向けた方針を速やかに策定されるとともに、市の政策に多様性の視点を取り入れ、あらゆる場に多様な人々が参画できる寛容なまちづくりに向けて、実効性のある取組みを着実に推進されるよう提言します。

2025 年2月 10 日

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎 様

豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会

高 橋 正 透

瀧 下 真 理 子

豊岡市多様性推進方針(案)

基本理念

命への共感に基づいて、だれもが多様なちがい(ダイバーシティ)を理解し、公平・公正(エクイティ)に扱われ、一体感を持って組織・社会に包摂(インクルージョン)されるまちづくり

取組の視点1

「ちがい」を理解・尊重し、
無意識の偏見・思い込みに気づき行動を変えます



取組の視点2

不利益をなくし、公平・公正を目指します
不利益をなくす



取組の視点3

だれもが包摂され、
多様性や寛容な態度がまちに新たな力を生み出します



委員の行動宣言

- ・常に自分の「あたりまえ」を疑うこと。
- ・多様な働き方推進宣言!!
- ・多様なちがいを理解し、個人を尊重する!
- ・ひととひとをつなぐ、つながる居場所や機会をつくる!“たのしい”をキーワードにして。
- ・私は誰にでも偏見なく優しい気持ちとナイスな態度で接します!
- ・話しやすい場をつくる。
- ・それぞれのちがいを認め、公平公正かつ寛容な「人づくり」に欠かせないのが「教育」です。その人づくりに家庭と学校と地域がどう繋がればいいのか、足元の小さなことから関わっていきます。
- ・多様性・ジェンダーの気づきに「はて!?’の声を上げていきたい。
- ・多様性推進・ジェンダーギャップについて「学ぶ」「教える」「学び続ける」
- ・固定観念をなくすこと。言語・文化・習慣の違いや個性を受け止めること。コミュニケーションの重要性が大事なかなと思っています。
- ・一年間しっかり勉強しました!!城崎町へ戻り住民に伝えます!!
- ・誰ひとり疎外されない、取り残されない多様性あふれる世界をつくる。
- ・男女が平等に活躍できるように、自ら積極的に行動する。
- ・固定観念にとらわれた発言に気をつける(意識する)。
- ・無意識から意識に行動を変えて行く。
- ・キャリアデザイン事業をすすめる。
 - 自律的なキャリア支援。
 - 働きやすく働きがいのある職場へ。
 - 男女の機会格差・性別役割分担意識を解消。
- ・ちがいを認める→会話が大切→まずはあいさつから。
- ・「まだ誰か取り残されているのでは」という視点を持ち続ける。
- ・多様なちがいを受け入れる大切さを身近なところから広めていく!
- ・第5次とよおか教育プラン
 - 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進。
 - 「豊かな心」の育成。
- ・それぞれの「ちがい」に気づき、目をそむけず多様性を受け入れます。

